

## 大日岳の縦走 2019(平成 31)年 4 月 18 日(木)

参加者：宮崎、内田、BC ガイド（柴田）

コース：室堂バスターミナル-雷鳥平-奥大日-大日岳-雑穀谷-文登研前進基地-人津谷-クムジュン

私がガイドさんからこのルート教えてもらい、数年来リクエストをしていたものの、天候などの諸事情で実現できなかった。内田さんが休みを取れことになり、天候も申し分ない快晴で立山に行った。

立山駅に到着するとすでにガイドさんが朝一のチケットをゲットしてくれていたの、次はガイドさんの車を出口にデポに向かう。幸運なことに藤橋ゲートが開いており旧クムジュン（現在マノア）に置くことが出来た。平時の高原バスだが室堂に到着は休日のダイヤより 1 時間遅い 9:30 に到着。みくりが池温泉の前から雷鳥平キャンプ場を回り称名川のボトムでシールを貼り新室堂乗越へ登っていく。P2511 からシールを貼ったまま滑り、稜線もまだ雪が柔らかいのでそのまま奥大日まで進んだ 11:50。ここから見る風景はアルペンルートの除雪は素晴らしいと感じます。



奥大日への登り <photo Sunny Emotion>

ここから滑走シールを外して滑走なのですが稜線の難しいラインどり、今日はガイドさんが切り開いて行ってくれるので心強い。西に向いた急斜面は雪崩の危険性は感じないが、少しクラストしているので慎重に滑った。



奥大日からの滑り <photo Sunny Emotion>

七福園に登り返す稜線はナイフリッジでアイゼンを装着して慎重にクリアーして行く。  
再びシールで七福園 13:05、再び滑走で大日小屋、またシールで登って大日岳に到着 14:  
30。山頂は一番高い所からはずいぶん離れていて雪庇の巨大さを思い知る。



七福園の登り <photo Sunny Emotion>

今日のメインバーンの雑穀谷に滑りこむ、ガイドさんがラインどりを偵察してくれて、結局一番スティーなラインだった、標高も下がってきたので雪は重いのだ柔らかくて滑りやすい、喉を過ぎると斜度も落ち着き斜面は広くなる。滑り良いのだが更に重くなり、筋肉が疲れて休み休みの滑走となった。でも大斜面で今日一番に楽しかった。



雑穀谷下部の滑り <photo Sunny Emotion>

4回目のシール登高でP1779、早乙女岳の稜線に出る17:10。ここから文登研前進基地までの稜線の滑走は雪がザラメでスピードもそこそこ出せて一番良い滑りができたかもしれない。17:40 前進基地で留守本部にメールを入れて最後の人津谷に入る。雪は更に減って谷が複雑で次第に滑りにくくなる。ガイドさんがルートを選んで下りていくのだが、小さな水が出たり、尾根を乗り継いだり、最後は崖の様な所をクライムダウンしてやっと林道に出た18:20。

林道を雪を拾って滑るけれども最後は歩きでクムジュンに到着。お店は今の時期無人だと思っていたがお店の人がいらっしゃってお話をして、無断駐車をお詫びしてゴールとなった。辺りはすっかり日が暮れてお月様が出てきた。日が長くなったのでヘッドランプは出さなくて済んだ。

ガイドさんに案内してもらってこの時間なので自分たちでルーファイをしながらだとヘッドランプのお世話になっていただろう。ロングコースで充実したスキー縦走が出来た。



文登研前進基地